

がいろめ倶楽部たより

第14号



新年度開始にあたって

とうとうと言うべきか、やっとと言うべきか、名古屋ボストン美術館が閉館することとなった。この美術館の計画は、バブルの申し子とでもいうべきもので、当時の博物館・美術館関係者からは、期待よりも不安視されることが大きかった。簡単に言えば、決定権をボストン美術館に握られた、貸しギャラリーでしかなかった名古屋ボストン美術館が、果たして美術館といえるのか、ということである。博物館・美術館は、作品の展示によって歴史・伝統・文化を広く伝えることが第一義であるが、そのためには、ボランティアや友の会等を通じた地域の人々との相互交流が不可欠である。自前の作品を持たない美術館は、どんなに素晴らしい展覧会を開催しても、しょせん貸しギャラリーの巡回展に過ぎないのである。

やきもの文化と芸術振興協会も三年を経過して、何とか知名度も上がってきたところであるが、四年目の今年こそが、重要な節目の年といえる。やきもの大学や苔玉作り、陶芸教室の開催等、これまで好評であった事業も見直し、新たな事業を立ち上げるなど、より多くの人々に参加を促せるようにして行く必要がある。このためには、今のスタッフでは限界に来ており、会員の参加を待ち望んでいるところである。月に一度でも、こんなことをしたい、こんなことならできる、といったことでも結構なので、是非事務局までお知らせ願いたい。

理事長 浅田 員由

◎総会報告●「平成27年度定時総会」開催の報告

◆平成27年度事業・会計報告と平成28年度事業計画の発表がありました。

5月14日(土)愛知県陶磁美術館1階展示説明室で開催されました。

午後1時30分から出席者 119名(内委任状87名)のもと、議案の審議が行われました。

第1号議案 平成27年度事業報告：谷事務局長から報告され、可決されました。

第2号議案 平成27年度会計報告：富田会計担当から報告、西村監事から監査報告があり、可決されました。

第3号議案 役員選出：任期満了に伴う、役員選出が行われました。

平成28年度事業計画：事務局長から発表されました。

愛知県陶磁美術館館長ご挨拶やグリーンクラブお手製の桜湯の接待も有り、和やかなうちに終了しました。



◆「NPO 会員による陶芸作品展」が同時開催されました。

今年度も、会員による陶芸作品展が開催されました。出品者 13 名作品 23 点の出品を得て、展示会を開催。一人 2 点の投票券をもって人気投票をして頂きました。力作が揃っていて、(写真右より) 1 位は小島様、2 位は舌古様、3 位は高嶋様が受賞されました。指導に当たって頂いた大津先生からは、陶器「白い愛」を協賛出品して頂きました。

●3月～5月の活動報告

◆「沖縄旅行」に行ってきました。2月29日(月)～3月2日(水)

森達也先生が同行・解説され、一般の観光ツアーとは一味違った沖縄旅行でした。首里では残された歴史遺跡と紅型工房を、2 日目以降はやむちんの里、県立博物館・美術館、那覇市壺焼博物館など沖縄のやきものをたっぷり味わいました。今帰仁グスクではその規模の大きさに圧倒され、沖縄の歴史の片鱗を垣間見た思いでした。ホテルでは浅田先生の丁寧な沖縄の歴史の解説を頂きました。ホテル近隣の壺屋通りや国際通りの散策もして、研修旅行を締めくくりました。(参加者：26 名)



◆「ヨーロッパ陶器のつどい」長久智子さんとお茶をいただきながら…

第 3 回平成 28 年 3 月 18 日(金)本館 1 階展示説明室
学芸員の長久智子さんを囲んでお聞きするヨーロッパ陶磁シリーズも 3 回目となり、オランダの黄金時代の歴史や交易、絵画そしてデルフト陶器にいたる話に皆さんも

満足の様子で、マイカップを持参されたり、差し入れのお手製の菓子を頂きながら、楽しまれました。(参加者第 1 回 19 名, 第 2 回 21 名, 第 3 回 27 名)

◆「浅田先生を囲むやきもの談義」が開催されました。

4 月 14 日(木)、5 月 12 日(木) 各回 10 時～12 時 本館 1 階展示説明室

今一度、やきものの歴史を学び直したいとの要望で開始され、4 月は縄文土器を草創期から晩期までの六期に分けてその特徴を学び、土器がやきものの源流を流れていることを。5 月は弥生時代の農耕・金属器文化と弥生土器の特徴を。どなたでも気軽に参加できる談義で、参加者は自己知識の刷新を図られていたようでした。(参加者 4 月 31 名、5 月 22 名)



◆『“秘色の青磁”をめざした猿投窯からその後の展望へ』が開催されました。

5 月 8 日(日) 10 時 30 分～12 時 本館地下 1 階講堂 講師：浅田員由

日本の古代最大の古窯跡群「猿投山西南麓古窯跡群」の略称である猿投窯、その対象地域や名称が



決まった経過から、源氏物語にも登場している青磁をめざす契機が紹介されました。壮大な窯・陶器に関わる歴史と共に、愛知県陶磁資料館設立や万博開催、リニモにいたる余話にも興味が尽きませんでした。瀬戸市長にもお聴き頂き、参加者は充分満足された様子でした。(参加者 41 名)

◆「考古学とやきもの」のつどい、が開催されました。

5月27日(金) 本館1階展示説明室 講師：田畑潤

考古学の立場からやきものを見直してみようと、学芸員の田畑潤さんが中国に留学して周公廟遺跡発掘に関わった時の話から講座は始まりました。中国の西周時代は日本では縄文時代、かの地ではすでに青銅器・玉器・土器がつくられ、刻字のト甲も発見されており、遺跡では大墓群、城壁、鑄銅工房が発掘され、北京大学生と共に作業されたとのこと。学術調査での発見・発掘について写真などで説明され、中国の歴史の長さや文化、政治制度など学ぶところが多いと感じました。(参加者 29 名)



●今後の講座ご案内

◆やきもの大学

平成28年度前期講座『“秘色の青磁”をめざした猿投窯からその後の展望へ』が始まりました。

講座会場はいずれも愛知県陶磁美術館 地下1階講堂です。

第2回「猿投窯から瀬戸・美濃へ」 6月12日(日) 午前10時30分から 講師 仲野 泰裕氏

第3回「渥美窯と常滑窯への発展」 7月10日(日) 午前10時30分から 講師 天野 敏規氏

(田原市博物館/渥美郷土資料館 学芸員)

第4回「日帰り研修旅行」9月14日(水) 詳細は別紙ご案内をご覧ください。

平成28年度後期講座は『典雅な京焼の始まり 仁清・乾山』(仮称)です。

講座会場はいずれも愛知県陶磁美術館 地下1階講堂です。

第1回「仁清・乾山・道八・古清水」 講師：尾野善裕 10月16日(日) 午前10時30分から

第2回「利休楽焼と茶の湯」 講師：神崎かず子 12月に予定 午前10時30分から

第3回「研修旅行」 3月の予定 1泊2日 京都

タイトルは仮称、講師は未確定です

◆景德鎮・黄山 中国旅行

平成28年10月8日(土)～13日(木)

景德鎮で博物館・窯遺址・採掘跡などを見学し、黄山の散策・ご来光等観光します。景德鎮では元愛知県陶磁美術館学芸課長の森先生(現沖縄県立芸術大学教授)に同行案内して頂きます。

既に、案内書・申込書はお手元に送付済みです。参加される方は、申込書を直接、日中平和観光株式会社に送付下さい。

◆愛知県陶磁美術館 学芸員による「つどい」 いずれも午前10時から12時

本館1階 展示説明室にて 詳細はそれぞれのチラシまたはHPをご覧ください。

7月22日(金)、8月11日(木・祝)、9月23日(金)、10月28日(金)、11月25日(金)

●ご案内

◆レストラン「とうじ」で、当 NPO 会員は、職員定食を 500 円で召し上がれます。また、コーヒーは 300 円（通常 350 円）でいただけます。注文時に NPO 会員であることを告げ、衝立の奥のテーブルが食事場所となります。混雑時配膳が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

◆県民茶室「陶翠庵」では、一服 550 円の抹茶・菓子が回数券（10 枚 4000 円）でご利用頂けます。NPO 会員の特典でお得です。回数券はお友達同士でお分けいただくこともできます。

◎ご案内

平成25年4月に設立された特定非営利活動法人『やきもの文化と芸術振興協会』は、関係各位のご協力により、4年目の活動を開始しております。愛知県陶磁美術館やその近郊をおもな活動域として、やきもの文化や芸術への知識・理解を深めて頂き、地域の活性化に協力していくことを目的に、この NPO 法人『やきもの文化と芸術の振興協会』が設立されました。

皆様方の尚一層のお力添えを頂きたく、また、設立趣旨をご理解いただいた上で、**ご自身の「やりたいこと」の実践の場**としてもご活用頂きたく思っております。

活動の実施内容(私ならこんなことをしてみたい)

◎生涯学習の場として:

- ・「やきもの大学」として年間を通した講座を実施。(私はこんな企画を持っている)
- ・講座内容の現場を見聞する研修旅行を実施。(こんな地方・産地を提案したい)
- ・海外のやきもの状況の見聞旅行を実施。(海外ではこんなところがお勧め)
- ・陶芸技術向上の技術講習会などを開講。(こんな手法や先生を知っている)
- ・有志の企画、運営による講座の開設。(新たな企画・運営手法を提案したい)

◎ボランティア活動の場として

(=設立趣旨に連動した自分の『やりたい事』を発案・企画・運営する場として):

- ・子供やあらゆる年代の方を対象にした体験プログラム実施。(やりたいプログラムがある)
- ・自治体や法人の助成を受けて、市民参加の活動を実施。(市民を巻き込むプランがある)
- ・将来のサクラの下での茶会を夢見て、桜湯作り等実施。(私ならこんなプランがある)

◎会員相互の親睦の場として:活動を盛り上げる応援団として、行事への参加だけでも歓迎です。

- ・旅行、見学会、講演会、研究会、茶会等、各種イベントの実施。(これなら私も参加!)
- ・書類の発送・講座等の受付・旅行のお世話など、一緒にお手伝いを頂ける方を募集しています。(その程度ならお手伝いしたい)

◎活動状況や予定は:

- ・各種の講座・イベントなどインターネットのホームページにて見る事が出来ます。
ホームページ <http://yakimonobunka.jimdo.com/> (ホームページの編集が出来る)
- ・年に 4-5 回 会員向け「がいろめ倶楽部たより」を発行します。(編集してみたい)

積極的な会の運営へのご参加をお待ちしております。どうぞ事務局までお声かけ下さい。

◎会員はいつでも募集中です◎

入会をご希望の方は郵便振替で年会費をお振込み下さい。(住所・氏名・連絡先明記の上)
年会費 (4 月から翌年 3 月末まで) 正会員 3 千円、家族会員 (同住所 2 名) 5 千円

郵便振替口座 記号番号 00890-9-152071 (株) やきもの文化と芸術振
興協会

発行元 : 「NPO 法人 やきもの文化と芸術振興協会」事務局
住 所 : 〒489-0875 瀬戸市緑町2-43
お問い合わせ: 電話番号: 090-5850-6969 (谷)
メール: yakimono.bunka@gmail.com
ホームページ: <http://yakimonobunka.jimdo.com/>